

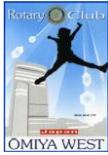
ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2023-24 年度 大宮西ロータリークラブ 週報



世界に希望を生み出そう



創立:1963年 3月 22日

会長 藤嶋 剛史

例会場:パレスホテル大宮

幹事 横溝 一樹 第2789例会 2023/08/28

例会日:月曜日12:30~13:30

クラブ会報委員会 竹ノ谷純宏

発行日 2023/09/04

会長挨拶



会長 藤嶋 剛史
まずは第 2770 地区
第 4 グループ山崎ガバ
ナー補佐、ようこそお
越しくできました。
本日の準備例会そして
次週の公式訪問例会、
どうぞよろしくお願
いいたします。

また、京都洛東 RC 吉田幹事、ご参加ありがとうございます。実は吉田様には 10/28、29 の京都親睦旅行の 1 日目、舞妓さんと巡る観光と夕食時のお座敷遊びの設営をお願いしております。今日は二次会の打ち合わせなどもお願いしていますが、楽しい旅行となりますよう、引き続きご協力をお願いいたします。

さて、先週土曜は S A A の会議がありました。年間の 6 分の 1 の例会が終了し、改善点などを話し合う機会を設けていただきました。積極的で前向きな取り組みに深く感謝申し上げます。

また、昨日は米山部門セミナーが開催されました。参加された皆様お疲れ様でした。その中で印象に残ったのが、先日も例会にご参加いただいた米山奨学会常務理事 井原パストガバナーの「一つだけ覚えて帰って欲しいことがあります。それは、米山は人を育てる事業ということです」との言葉でした。それに続いて「人生を楽しむためには、1 日だけならお酒を飲む、10 年間なら木を植えて育てる、30 年、50 年、100 年なら人を育てること」とのお話もありました。米山について誤解をされている人がいるな、とたまに思うのですが、米山は貧しい学生を救うための事業ではありません。終戦後、まだ外国からの強い反日感情がある中で、日本は二度と戦争をしないという誓いとして、当時のロータリアンにより平和の事業として生まれたものです。一言でいえば、日本の友人を増やし、平和を実践する人を「育てる」事業です。

誤解といえば、ポリオに関しても感じる場合があります。先週も説明しましたが、身体まひの発症者が少ないからといって寄付が少なくなくて済むわけではありません。毎年、発症国以外にも貧しい

国の 4 億人もの子どもにワクチンを提供しており、今それをやめてしまうと今後 10 年間に 20 万人の子どもが身体まひになると言われています。この活動をやめるということとは、その子どもたちを見捨てるということではないでしょうか。なお、世界では新生児数が増えている、今まで以上に寄付が必要になっていると言われています。

ロータリーは、一生の仲間が来て、時々仕事ももらえる上、自分が少しは社会や子どもたちの役にたつことができる、素晴らしい組織だと思います。ただ、親睦だけをやっていても本当の仲間は出来ないと思います。やはり、共に奉仕活動を行い、共に達成感を得ることが大事であり、そしてその前に、まずは活動の内容を深く理解することが必要なのではないでしょうか。例えば、ポリオが何なのか知らずにポリオの募金をしても、ただの「やらされ感」しか生まない気がします。そのため、今後はロータリーの活動に関する研修も行いたいと思っております。その際にはぜひ多くの皆様にご参加いただければ幸いです。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

石丸 主憲会員



お客様紹介、米山記念奨学生紹介

- 第 2770 地区 第 4 グループガバナー補佐 山崎 和雄様 (岩槻東 RC)
- 京都洛東ロータリークラブ 幹事 吉田 直史様
- 2023 学年度米山記念奨学生 金 亮希さん
(ご紹介: 会長エレクト 押野 一郎)

幹事報告

幹事 横溝 一樹

1. 先週に引き続き、秋田県豪雨災害支援募金へのご協力をお願いいたします。
2. 2770 地区共催の「ピンクリボン・オンライン・ウォーク&ラン」のご案内を配布いたしました。

把手共行 ~分かち合おう、共にロータリーの感動を~

事務局:さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/

